

2023年9月29日

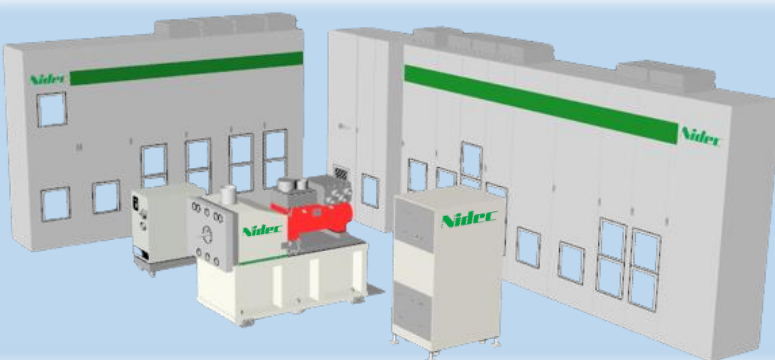
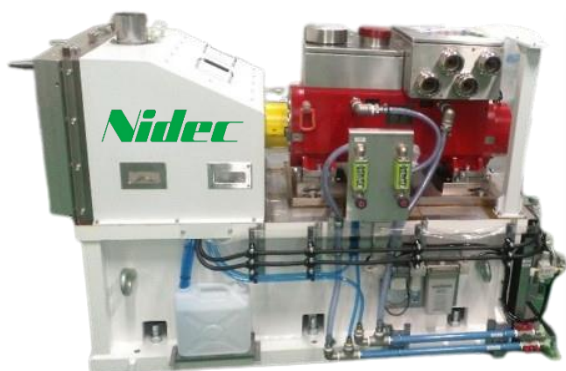
各位

会社名 ニデックアドバンステクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 山崎 秀和
所在地 京都府向日市森本町東ノ口1-1
ニデックパークC棟

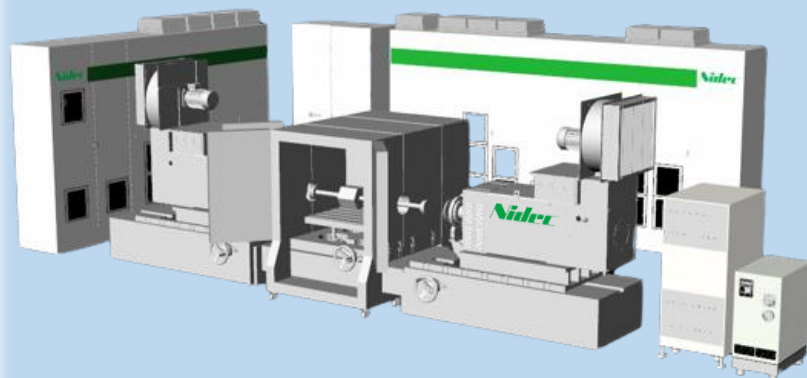
EV モータ用試験ベンチ「TDAS-1202P」「TDAS-2032P」の発売について

—最大回転数 20,000rpm、最大出力 700Nm のモータに対応—

ニデックアドバンステクノロジー株式会社（以下、当社）は、EV 向けトラクションモータ単体用の性能評価 1 軸試験ベンチ「TDAS-1202P」、並びに、モータ、ギア、インバータを一体化した EV 向けトラクションモータシステム「E-Axle（イーアクスル）」用性能評価 2 軸試験ベンチ「TDAS-2032P」の販売を開始しました。



「TDAS-1202P」 1 軸試験ベンチ



「TDAS-2032P」 2 軸試験ベンチ

開発の背景・特徴

世界で拡大する自動車の電動化により、EV 向けトラクションモータ用性能評価試験ベンチ、並びに E-Axle 用性能評価試験ベンチの需要は近年急速に拡大しています。当社の「**TDAS-シリーズ**」は、当社グループの「E-Axle」の開発・試験に使用されているものであり、コストと品質、評価試験精度の最適化を図り「自動車の電動化（EV 化）」の発展伸長に貢献することを目的に開発されました。

「**TDAS-1202P**」は、20,000rpm/700Nm に対応した EV 向けトラクションモータ単体用の性能評価試験ベンチで、モータの性能試験、効率／電費試験、低高温環境試験、並びに適合試験(ISO 対応含)に対応しており、同価格帯の試験ベンチにおいて**世界最速クラスの回転数に対応**しています。

「**TDAS-2032P**」は、3,300rpm/3,300Nm に対応した E-Axle 用の性能評価試験ベンチで、「TDAS-1202P」同様の試験に対応しております。

TDAS シリーズの特徴

- ・電流・電圧・**回転数**・トルク・温度・振動を高精度・**高周期**で測定し、効率マップ表示等のデータ処理・解析が可能
- ・試験シーケンス・走行モード等をオート・セミオートにて実行できる機能を備え、試験環境の省人化に貢献
- ・インバータおよびバッテリーシミュレータ共に回生機能を有し、必要に応じてモーターベンチ内で消費される電力を削減
- ・恒温槽や低温・高温チラーを利用することによって、供試体冷却オイル、クーラント液等の温度管理をした試験に対応
- ・様々な供試体に柔軟に対応でき、また容易に交換作業できるように位置決め機構を持つ面板方式を採用（TDAS-1202P のみ）

また、今後の需要増加をにらみ、これらの製品を利用した BEV 用、HEV 用インバータベンチなども構築可能で、低コストな試験ベンチへの対応可能なソリューションも用意しております。

今後は、当社の工場内に設置されている複数台の試験ベンチを利用して、お客様からのテスト評価依頼にも対応していく他、NEDO(国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)の助成を受けて、30,000rpm クラスの高速モータ用ベンチやギアボックス用テストベンチの開発も進めております。

今後も当社グループは、様々な関連商品の内製展開により、モータの省エネ化によって電力の消費を抑え、地球環境への負荷低減に貢献する革新的なソリューションを提案していきます。

製品に関するお問合せ先

ニテックアドバンステクノロジー株式会社

TEL:075-280-8100